

放射線防護研究会 9 月講演のお知らせ

日本放射線技術学会
中部部会放射線防護研究会
東海地区世話人：鈴木昇一

一般撮影はデジタル化が進んでいます。医療放射線の中で最も件数の多い一般撮影について被曝の議論は基礎的過ぎるためか、忘れ去られているような現状です。そこで今回、一般撮影における患者さんの受ける線量について講演会を計画しました。

講演会は、2007 年度、技術学会の調査研究班として、「X 線診断時に患者が受ける線量の調査研究：研究責任者鈴木昇一」のメンバーによる概要の中間報告と線量推定時における問題点についてメーカーの担当者と調査研究班班員から講演を行っていただきます。

一般撮影領域について線量評価の議論を行い、情報の共有化を行いたいと思います。

会員に限らず多くの方々と情報を交換したいと思います。

多くの会員の参加をお待ちしています。

記

日時：平成 19 年 9 月 29 日（土曜日）

14：00－17：00

場所：藤田保健衛生大学衛生学部 5 号館 2 階講義室

講演者 1：X 線装置のろ過厚の表示等の規格等について
メーカー 担当者

講演者 2：X 線診断時に患者が受ける線量の調査研究の概要中間報告
研究班員、浅田恭生（藤田保健衛生大学）